

#) 外陰炎・膣炎（掻痒感、帯下）の検査・治療の流れ：
（緑井レディースクリニック）

局所の状態の確認（内診）

おりもの検査

（顕微鏡検査、細菌培養、真菌培養、
淋菌、クラミジア検査などの性病もチェック）

経膣超音波（エコー）検査で、

子宮内の炎症性分泌物（子宮内膿瘍）のチェック

（子宮溜膿腫があれば、以後の当院での治療は無理）

顕微鏡検査で、膣錠の種類を選択し挿入

痒みがある場合は、塗り薬を処方。

1～2週間後に、再受診し、検査結果を説明、伝票をわたす

その後、洗浄し、膣錠挿入

（培養の結果では、塗り薬や膣錠が変わることがあります）

自宅で膣錠を自己挿入される場合には、4～5錠膣錠を渡し、

翌日から就寝前に、4～5日連続で、自己挿入。

挿入し終わったら、2～3日して、膣洗浄に来院。